

取扱注意〔10月25日（水）14時公表予定〕

賃金引上げに関する調査結果

■調査概要	1
■調査結果の主なポイント	2
1. 2023年度の賃上げの状況（正社員、非正規社員）	3～4
2. 正社員の賃上げについて	5～8
①実施した内容	
②賃上げ率	
③実施した理由	
④見送ったもしくは未定の理由	
■調査票	9

令和5年10月

広島県商工会議所連合会

■調査概要

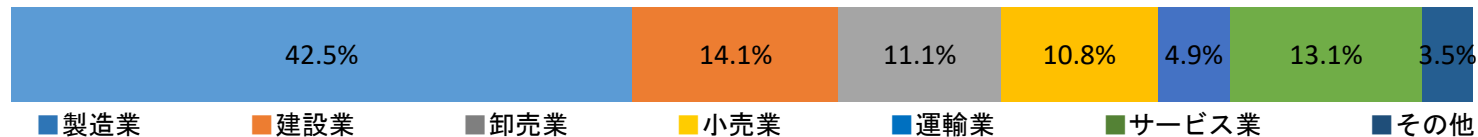
- (1) 調査目的 県内企業の賃金引上げの意向や対応状況等について把握し、経済対策における要望活動等に活用するため、令和5年3月に実施した意向調査に続き、追跡調査を実施する
- (2) 調査対象 県内13商工会議所の景気観測モニター企業 1,045社
〔回答：632社、回答率：60.5%〕
- (3) 調査期間 令和5年9月1日～10月2日
- (4) 調査方法 郵送、FAX、電子メール、インターネット

■前回 (R5.3) 調査	
対象数	1,049社
回答	616社
回答率	58.7%

<回答企業の属性>

【業種】

製造業：269社（42.5%） 建設業：89社（14.1%） 卸売業：70社（11.1%）
 小売業：68社（10.8%） 運輸業：31社（4.9%） サービス業：83社（13.1%） その他：22社（3.5%）



【従業員数】

50人以下：338社（53.5%） 51～100人：92社（14.6%） 101～300人：107社（16.9%）
 301人以上：95社（15.0%）



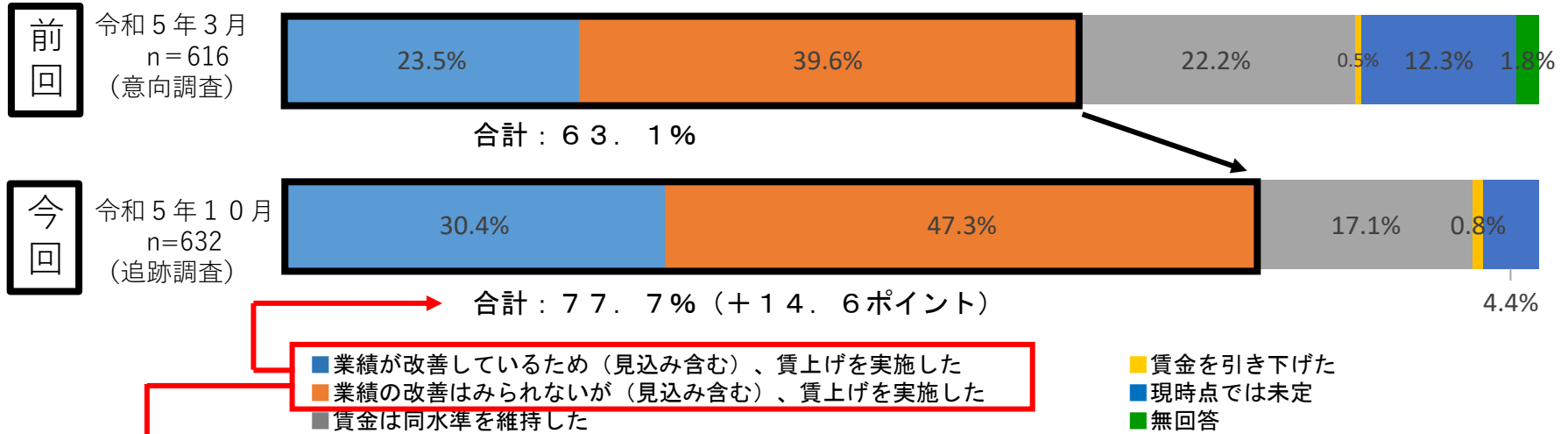
■ 調査結果の主なポイント

賃上げの状況 2023年度の	正社員	<ul style="list-style-type: none"> 「賃上げを実施した」は約8割（77.7%）。前回（R5.3）意向調査（以下、「前回調査」）（63.1%）から<u>14.6ポイント増加</u>。
	非正規社員	<ul style="list-style-type: none"> 「賃上げを実施した」は4割強（45.7%）。前回調査（33.3%）から<u>12.4ポイント増加</u>。
【正社員に対する賃上げについて】		
実施した	内 容	<ul style="list-style-type: none"> 「定期昇給を実施した」が70.9%と最多で、「ベースアップ」を実施した（60.9%）が続く。「一時金（賞与）を増額した」（26.3%）が前回調査から<u>8.3ポイント増加</u>。
	賃上げ率	<ul style="list-style-type: none"> 「2%以上3%未満」が27.5%と最多で、「1%以上2%未満」（23.2%）が続く。 賃上げ率3%以上は43.6%と4割を超える。
	理 由	<ul style="list-style-type: none"> 「人材確保・定着やモチベーション向上のため」が89.2%と最多。「物価が上昇しているため」（74.3%）、「社会における賃上げ機運が高まっているため」（52.1%）が続く。
もしくは未定	理 由	<ul style="list-style-type: none"> 「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」が61.7%と最多。「業績の改善がみられないため」（41.1%）、「賃上げを行う原資がないため」（27.7%）、「価格転嫁が進んでいないため」（22.7%）が続く。

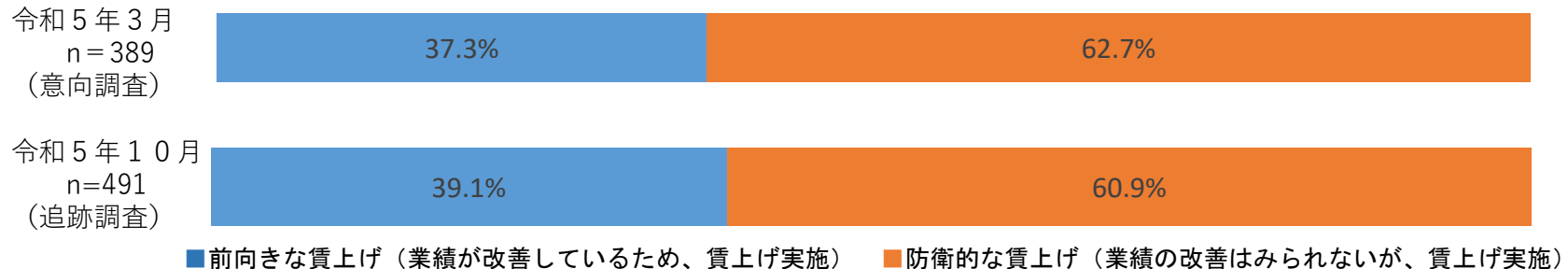
1. 2023年度の賃上げの状況（正社員）

正社員

・「賃上げを実施した」は約8割（77.7%）。前回調査（63.1%）から14.6ポイント増加。



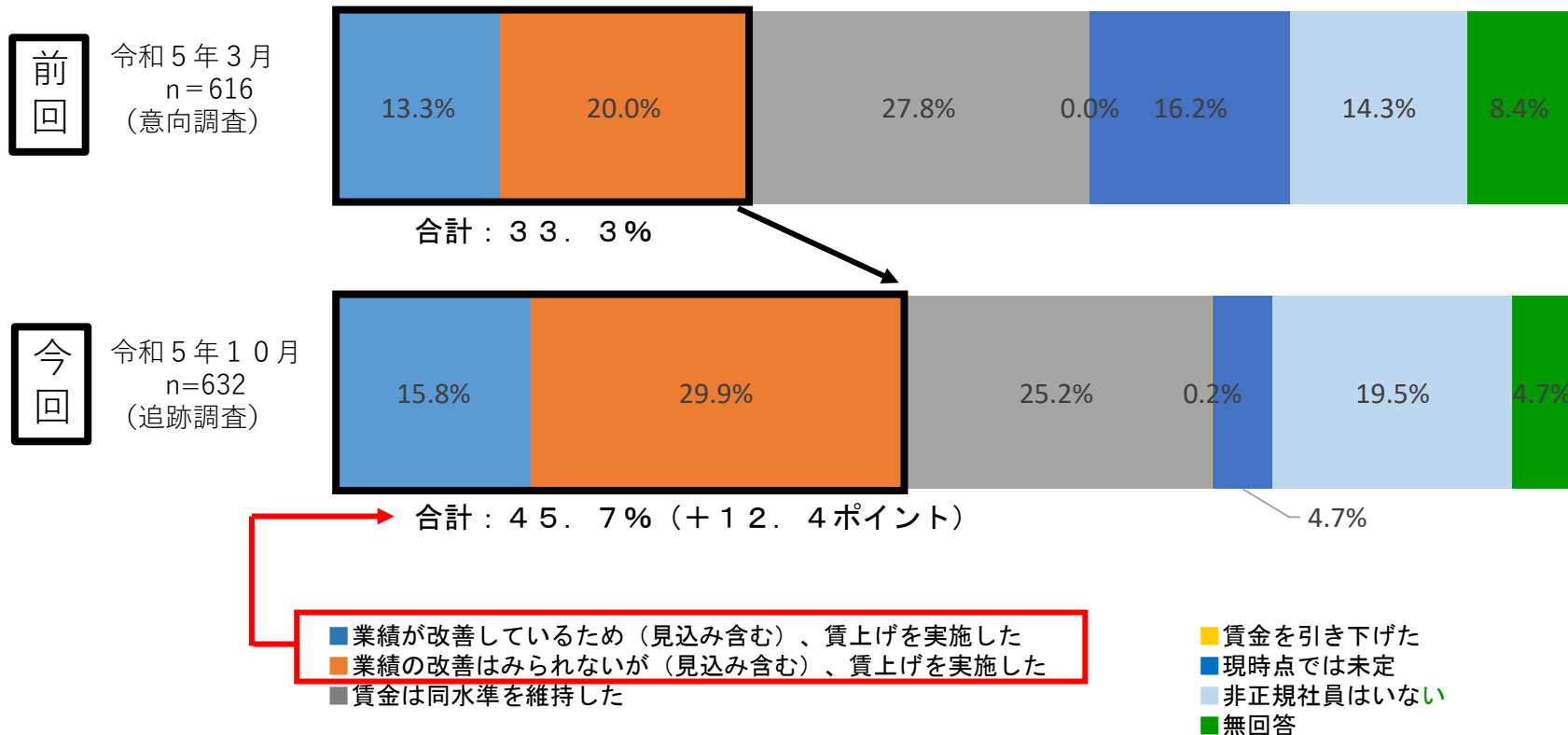
■ 賃上げを実施した企業を100とした場合の「前向きな賃上げ」と「防衛的な賃上げ」の割合



1. 2023年度の賃上げの状況（非正規社員）

非正規社員

- ・「賃上げを実施した」は4割強（45.7%）。
前回調査（33.3%）から12.4ポイント増加。



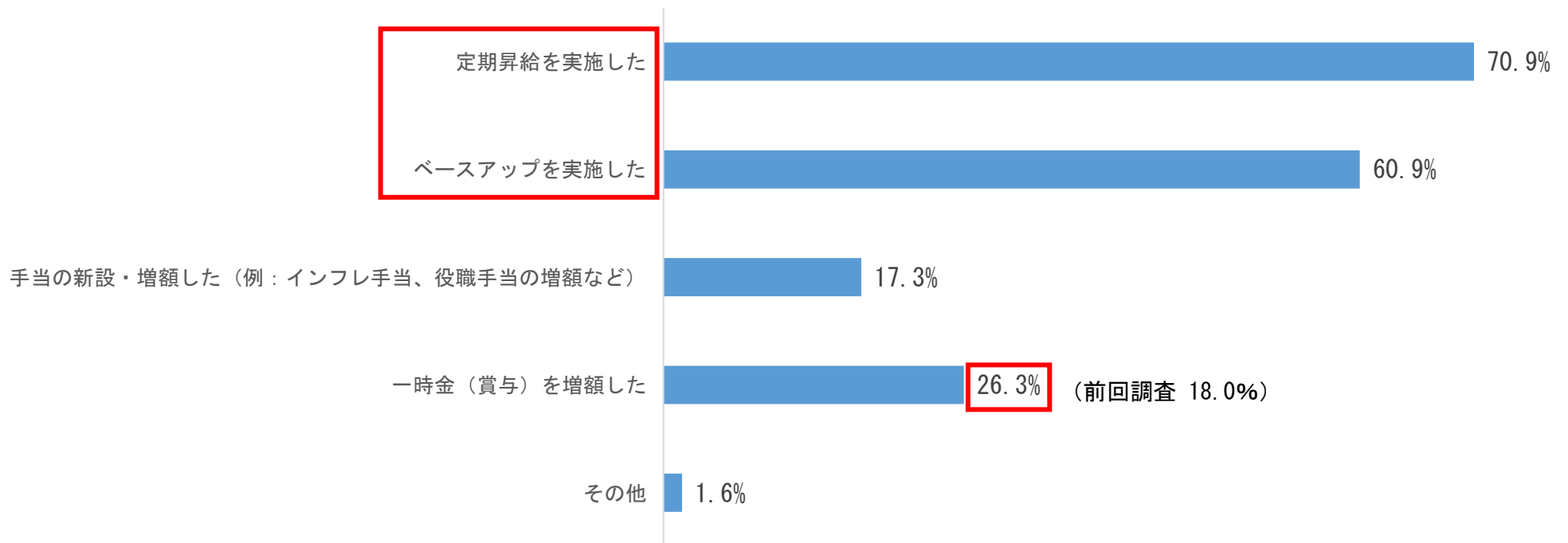
2. 正社員の賃上げについて①

賃上げを実施した

内 容

- ・「定期昇給を実施した」が70.9%と最多で、「ベースアップ」を実施した（60.9%）が続く。「一時金（賞与）を増額した」（26.3%）が前回調査から8.3ポイント増加。

【複数回答】 n=491

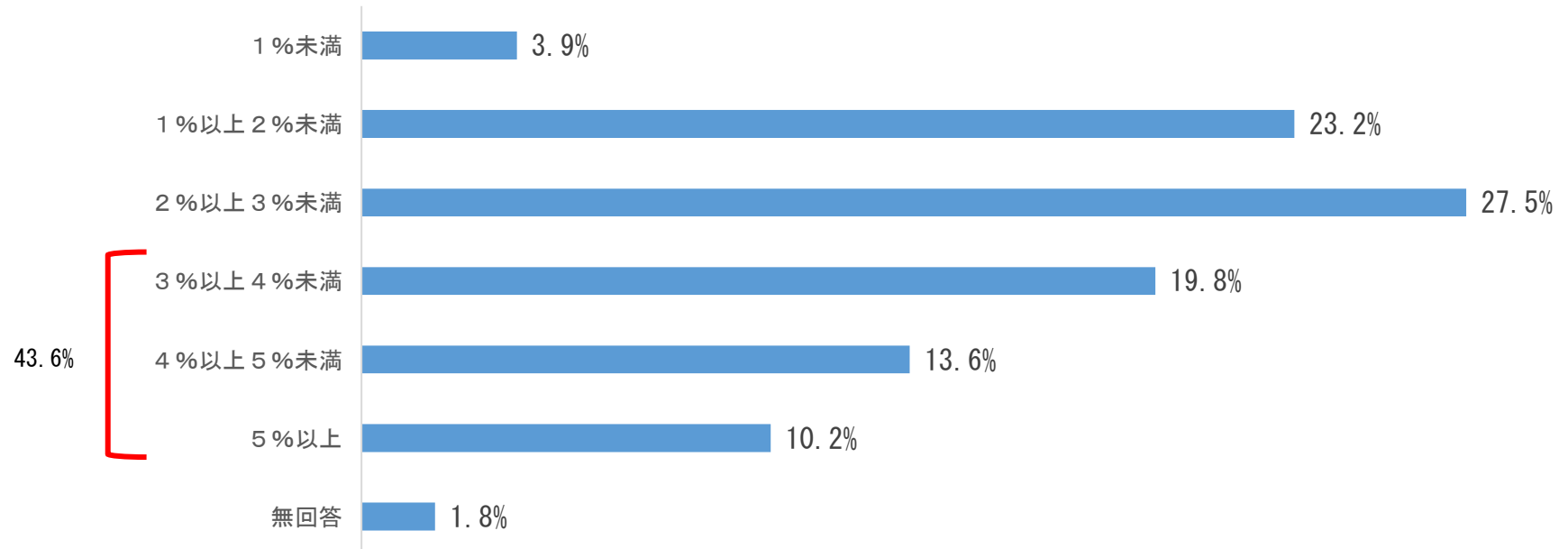


2. 正社員の賃上げについて②

賃上げを実施した

賃上げ率

- ・ 「2%以上3%未満」が27.5%と最多で、「1%以上2%未満」(23.2%)が続く。賃上げ率3%以上は43.6%と4割を超える。



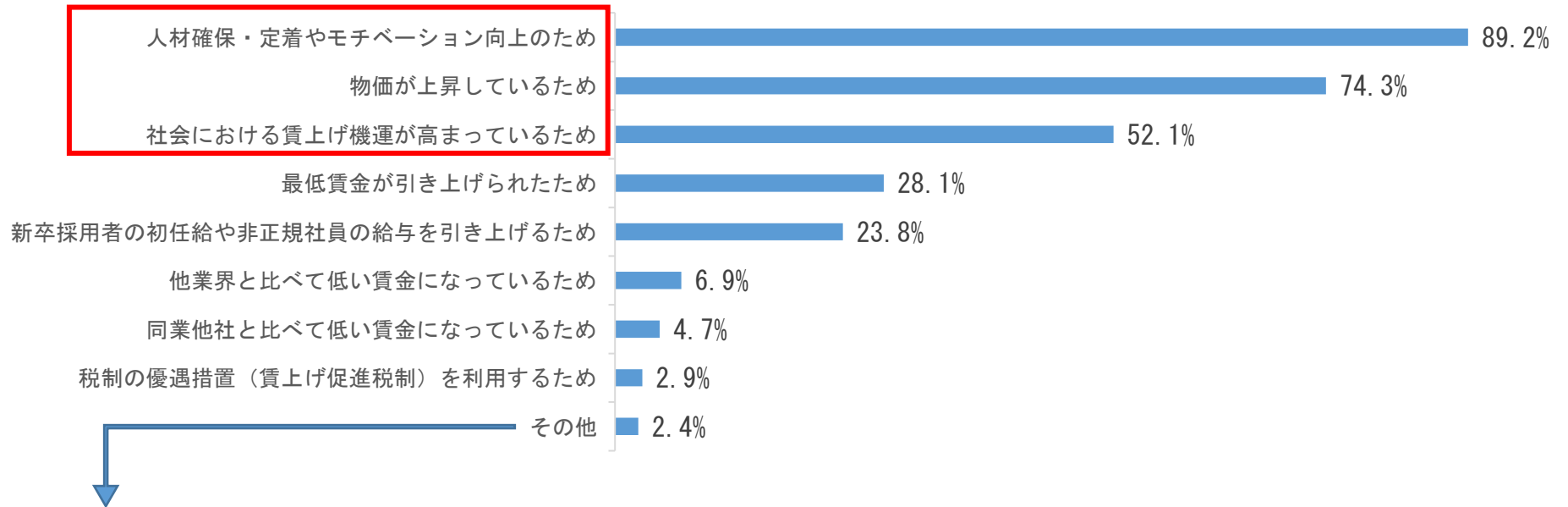
2. 正社員の賃上げについて③

賃上げを実施した

理由

- ・「人材確保・定着やモチベーション向上のため」が89.2%と最多。「物価が上昇しているため」（74.3%）、「社会における賃上げ機運が高まっているため」（52.1%）が続く。

【複数回答】 n=491



（「その他」コメント）

- ・国（発注者）の施策による。賃上げにより受注に関する評定点アップにつながるため。
- ・本来はある程度大きな賃上げを検討していたが、エネルギーコスト上昇で業況悪化のため、例年通りの賃上げとなった。
- ・自社を取り巻く環境および社会情勢と業界動向も含め、適正な賃上げは人材確保のためには必要不可欠となっている。

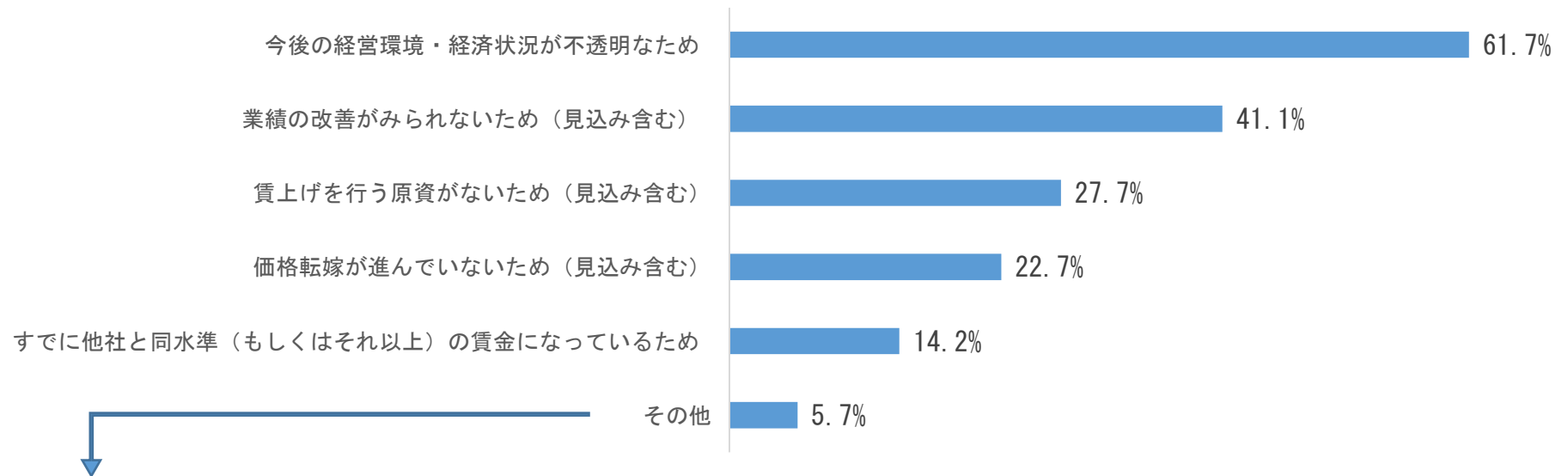
2. 正社員の賃上げについて④

賃上げを見送ったもしくは未定

理由

- ・「今後の経営環境・経済状況が不透明なため」が61.7%と最多。「業績の改善がみられないため」(41.1%)、「賃上げを行う原資がないため」(27.7%)、「価格転嫁が進んでいないため」(22.7%)が続く。

【複数回答】 n=141



(「その他」コメント)

- ・ 昨年、コロナの中、あえて賃上げを実施した為。
- ・ 最低賃金の引上額が非常に高く、通常の昇給幅より高いため、見送らざるを得ない状況が続いている。

■ 調査票

広島県商工会議所連合会 賃金引上げに関する調査

- ・広島県商工会議所連合会では、県内企業約1,000社を対象に標記調査（3月一意向調査、9月一追跡調査）を実施することとしており、3月調査では、賃金引上げの見直しについて約6割強の企業が、「賃上げを実施する（予定含む）」と回答しました。
- ・今回の調査では、前回（3月）調査以降の状況についてお伺いいたします。
- ・本調査の実施により、企業の経営実態に即した経済対策が講じられるよう要望活動等を通じて主張してまいりたいと存じますので、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

◎各設問の回答につきましては、該当する番号の口に✓印をお付けください。

業 種	<input type="checkbox"/> 1：製造業	<input type="checkbox"/> 2：建設業	<input type="checkbox"/> 3：卸売業	<input type="checkbox"/> 4：小売業	<input type="checkbox"/> 5：運輸業
	<input type="checkbox"/> 6：サービス業	<input type="checkbox"/> 7：その他	*業種が複数にまたがる場合は、主たる業種を1つお答えください。		
従業員数	<input type="checkbox"/> 1：50人以下	<input type="checkbox"/> 2：51～100人	<input type="checkbox"/> 3：101～300人	<input type="checkbox"/> 4：301人以上	
	*出先事業所の場合は、全社従業員数でお答えください。				

設問1：貴社の正社員と非正規社員における2023年度（2023年4月～2024年3月）の賃上げの状況について、選択肢からお選びください（令和5年8月31日時点）。

- *正社員の賃上げとは定期昇給、ベースアップ、手当の新設・増額、一時金（賞与）の増額を指します。
- *非正規社員の賃上げとは時給・月給アップ、手当の新設・増額、一時金の増額を指します。

【選択肢】 ①正社員から1つ、②非正規社員から1つをお選びください

①正社員	②非正規社員	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1：業績が改善しているため（見込み含む）、賃上げを実施した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2：業績の改善はみられないが（見込み含む）、賃上げを実施した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3：賃金は同水準を維持した
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4：賃金を引き下げた
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5：現時点では未定
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6：非正規社員はいない

設問2：設問1の正社員について、選択肢1または2を回答された方に、以下3点についてお伺いします。

- 「1：業績が改善しているため（見込み含む）、賃上げを実施した」
- 「2：業績の改善はみられないが（見込み含む）、賃上げを実施した」

(1) 貴社の正社員の2023年度の賃上げ内容について、選択肢からお選びください。

- *定期昇給とは「年齢や勤続年数に応じて賃金を一定額増やす」こと、ベースアップとは「基本給を底上げする（賃金水準を引き上げる）」ことを指します。

【選択肢】 複数該当する場合は、全てお選びください

<input type="checkbox"/>	1：定期昇給を実施した
<input type="checkbox"/>	2：ベースアップを実施した
<input type="checkbox"/>	3：手当の新設・増額した（例：インフレ手当、役職手当の増額など）
<input type="checkbox"/>	4：一時金（賞与）を増額した
<input type="checkbox"/>	5：その他

(2) 賃上げ率の状況（定期昇給、ベースアップ、手当、賞与、一時金など。概算で可）について、選択肢からお選びください。

【選択肢】 該当するものを1つお選びください

<input type="checkbox"/>	1：1%未満	<input type="checkbox"/>	4：3%以上4%未満
<input type="checkbox"/>	2：1%以上2%未満	<input type="checkbox"/>	5：4%以上5%未満
<input type="checkbox"/>	3：2%以上3%未満	<input type="checkbox"/>	6：5%以上

(3) 貴社が正社員の賃上げを実施した理由について、選択肢からお選びください。

【選択肢】 複数該当する場合は、主な理由を5つまでお選びください

<input type="checkbox"/>	1：人材確保・定着やモチベーション向上のため
<input type="checkbox"/>	2：物価が上昇しているため
<input type="checkbox"/>	3：社会における賃上げ機運が高まっているため
<input type="checkbox"/>	4：最低賃金が引き上げられたため
<input type="checkbox"/>	5：新卒採用者の初任給や非正規社員の給与を引き上げるため (例：初任給が既存の社員の給与を上回ってしまうことを防ぐため)
<input type="checkbox"/>	6：同業他社と比べて低い賃金になっているため
<input type="checkbox"/>	7：他業界と比べて低い賃金になっているため
<input type="checkbox"/>	8：税制の優遇措置（賃上げ促進税制）を利用するため
<input type="checkbox"/>	9：その他 → 具体的な内容はコメント欄にご記入をお願いします。

(コメント欄) *ご記入いただいたコメントは、調査結果に掲載させていただくことがあります。

設問3：設問1の正社員について、選択肢3～5のいずれかを回答された方にお伺いします。

- 「3：賃金は同水準を維持した」
- 「4：賃金を引き下げた」
- 「5：現時点では未定」

正社員の賃上げを見送ったもしくは未定とする理由について、選択肢からお選びください。

【選択肢】 複数該当する場合は、主な理由を3つまでお選びください

<input type="checkbox"/>	1：今後の経営環境・経済状況が不透明なため
<input type="checkbox"/>	2：業績の改善がみられないため（見込み含む）
<input type="checkbox"/>	3：賃上げを行う原資がないため（見込み含む）
<input type="checkbox"/>	4：価格転嫁が進んでいないため（見込み含む）
<input type="checkbox"/>	5：すでに他社と同水準（もしくはそれ以上）の賃金になっているため
<input type="checkbox"/>	6：その他 → 具体的な内容はコメント欄にご記入をお願いします。

(コメント欄) *ご記入いただいたコメントは、調査結果に掲載させていただくことがあります。

ご協力ありがとうございました

◎3～5のいずれかを回答された方は設問3へお進みください。
 ◎1または2を回答された方は設問2へ。

【事務局】

広島県商工会議所連合会

(広島商工会議所 総務企画部企画広報課)

〒730-8510 広島県広島市中区基町5-44

TEL 082-222-6610

FAX 082-222-6664